

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけつと西国分寺駅前教室
公表日	2026年 3月 31日
利用児童数	36
回収数	26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26				少人数なので十分だと感じる 十分なスペースだと思う 子どもがのびのびと遊べるスペースが確保されている	お子様がのびのびと過ごしているとお声をいただき嬉しく思います。引き続き、安全で活動しやすいスペースの確保と環境維持に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1			少人数なので十分だと感じる 適切だと思う 1人1人の子どもに目が届く、適切な配置数だと思う	今後もお子様一人ひとりにきめ細やかな支援が行き届くよう、適切な人員配置と職員間の連携を維持してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4		1	個室の空調が暑く感じる時がある 車椅子が必要な子には入り口等難しいと思った 子供に分かりやすい環境になっていると思う 子供が自ら行動できるように工夫されている、また設備なども障害特性に応じて配慮されている	空調の温度管理について貴重なご意見をありがとうございます。快適に過ごせるよう室温調整を徹底いたします。また、車椅子でのご利用などバリアフリー面につきましては、入退室時の職員によるサポート体制を強化し、より利用しやすい環境づくりに努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26				入口(玄関)の防犯面が心配。チャイムだけでなく、簡素なカメラなどをつける余地はあるか 広いスペースもあり、のびのびと過ごせていると思う 活動に合わせた空間になっていると思う 子ども各自の活動に合わせた空間になっており、清潔かつ心地よく過ごせる環境だと思います	防犯面に関するご不安の声を真摯に受け止め、より安心してご利用いただけるよう、防犯カメラ等の設備導入を既に行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2		1	最初の頃に比べ、成長していると思う 子どもに合わせて支援を受け入れていると思う こどもの特性に応じたプログラムの設定がされており、専門性の高い支援をいただいている	今後も職員の専門性向上を図り、お子様それぞれの特性や発達段階に合わせた質の高い支援を提供できるよう、教室内研修等に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2		1	問題なし 合っていると思う 合致している	引き続き、公表している支援プログラムと実際の支援内容に齟齬が生じないよう、定期的なプログラムの見直しと分かりやすい情報開示に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	2			子どもに合っていると思う 子どもに合わせて計画作成して頂いている 定期的な面談を通して、ニーズや課題を保護者と共有し、確かな計画が作成されている	今後も保護者様との定期的な面談や日々のコミュニケーションを大切にし、客観的な視点に基づいた適切な個別支援計画の作成・見直しを行ってまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2		2	通常のレッスンでの本人支援のみでなく、保護者へ普段の生活における様子や課題を聞いて下さったり、園へ移行するための園での様子などもよく聞き取って下さる 子供に合わせて設定されている 具体的な支援内容の設定で分かりやすいと思う 支援に必要な項目が適切に設定され、半年ごとにきめ細やかな具体的な支援内容が設定されている	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各視点を踏まえ、より具体的に分かりやすい支援内容の設定に努めます。また、保育所等での様子も伺いながら、移行を見据えた支援を強化してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1		1	計画に沿って支援して頂いている 計画に沿った支援が行われている	計画に基づく一貫した支援を徹底するとともに、日々の支援記録を通じて振り返りを行い、よりお子様に合った支援へと繋げてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	5	2	3	毎回、同プログラムをこなしていると思います 何かが出来れば次のステップへ進んだりしている 個々の活動をして頂いている 固定化されないよう保護者と連携をとり工夫されたプログラムを実行されている	「毎回同じプログラムをこなしていると感じる」とのご意見を真摯に受け止めます。個々の発達段階(ステップ)に合わせた活動を提供しつつ、お子様が飽きずに楽しく取り組めるよう、活動内容の多様化と工夫に努めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	11	5	3	7	まだそのような機会がないためわからない 遠方からの為わからない 機会がありましたら参加したいと思う	地域交流や他機関との交流機会に関するご要望をありがとうございます。今後は、近隣施設との交流や地域社会と関わる機会を段階的に企画・検討し、保護者様へご案内できるよう努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				最初に説明して頂いている 保護者に分かりやすい丁寧な説明があった	引き続き、ご利用開始時および変更時には、運営規程や利用者負担等について、丁寧で分かりやすい説明を徹底してまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1			定期的に説明して頂いている 支援計画を紙面で確認しながら支援内容をわかりやすく説明されていた	今後も個別支援計画に基づく支援内容について、書面を用いながら定期的に分かりやすくご説明し、保護者様との共通理解を深めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	8	9	SNSや書面、対面で案内している、機会があれば参加したいと思う まだそのような機会がないのでわからない 参加したことがないのでわからない	ペアレント・トレーニング等について「わからない」というご意見が多く見られました。今後は、SNSや書面だけでなく、フィードバック時にも直接お声がけするなど、より積極的な情報提供に努め、参加しやすい環境づくりに検討いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	2			子どもがどのように過ごしているか詳しく教えてもらっている フィードバック等で共通理解出来ていると思う 毎回、必ずフィードバックと子どもの日々の様子を保護者と共有して頂いている	毎回のフィードバックを評価いただきありがとうございます。引き続き、日々の様子や発達の状況を細やかに共有し、保護者様と連携した支援を行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5			定期的な面談で支援がある 定期的な面談があり、助言を頂いてとても助かっている	定期的な面談を通じたサポートを今後も継続し、子育てに関するご相談やご不安に対して、寄り添った具体的な助言ができるよう努めてまいります。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2			そう思っている どの職員の方も子供に寄り添った支援をしている	温かいお言葉をありがとうございます。今後も、お子様一人ひとりの気持ちに寄り添い、共感的な姿勢での支援を全職員で徹底いたします。	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	7	11	まだそのような機会がないためわからない 参加したことがないのでわからない 機会があれば参加させて頂きたいと思う	现阶段では、交流の場は設けておりませんが、要望が多いようであれば検討したいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	2	5	そういった相談をしたことはないのでわからない 対応して頂いている 子どもや保護者が相談しやすい環境が整備されている、また的確な対応をして頂き、非常に助かっている	日頃から些細なことでもご相談いただけるよう、相談窓口の存在や対応体制について改めて周知を図ります。ご相談をいただいた際は、引き続き迅速かつ丁寧に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2			先生によって伝え直すこともある 配慮があると とても配慮がなされていると思う	職員からの伝達事項において、より分かりやすい的確な情報共有ができるよう、職員間の連携とコミュニケーションスキルの向上に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	1	7	インスタグラムやメールで情報発信しています 発信されているので活動の確認ができています SNSやアプリを通して発信されている	SNSやメールを通じた情報発信をご活用いただきありがとうございます。すべてのご家庭に必要な情報が行き届くよう、引き続き発信方法の工夫と周知を継続いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	2		2	そう思う 留意されている	記録類における個人名の匿名化(イニシャルや記号の活用)など、プライバシー保護の取り組みを徹底しております。今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	1	6	最初に説明して頂いている 実施されている 周知・説明されている	各種マニュアルの策定および発生を想定した対応について、保護者様への周知をさらに徹底してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		10	行われている 行われていると思う	定期的な避難訓練は実施しておりますが、保護者様へのご報告が不十分であった点を見直します。今後は、訓練の実施状況や結果について、お便り等で積極的にお伝えしてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1		5	安全の確保された支援をして頂いている 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている	引き続き、施設内および屋外活動時の安全確保を最優先とし、定期的な環境点検やヒヤリハットの共有等を通じて、事故防止に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			6	そう思う 説明されていると思う	万が一、怪我や事故が発生した場合には、迅速なご連絡と詳細な状況説明を徹底いたします。引き続き、安全第一の運営を行ってまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26			1	一度も嫌がらず通所している 安心していると思う 子どもは安心して毎回楽しく通所している	お子様が安心して通所されているとお声をいただき大変嬉しく思います。今後も、お子様にとって安心できるあたたかい居場所づくりに努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24			2	いつも楽しみにして通所している 楽しみにしている 行きたくないと言ったことが一度もなく、毎回とても楽しみに通所している	「毎回とても楽しみにしている」とのお言葉は職員の大きな励みになります。引き続き、お子様の「行きたい！」「楽しい！」という気持ちを引き出せるような活動を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			1	満足している 個別の相談や要望に迅速に対応して頂き、とても満足している	高い評価と温かいご意見をいただき、心より感謝申し上げます。現状に満足することなく、いただいた貴重なご意見を日々の支援に活かし、より良い事業所づくりに邁進してまいります。

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名		てらびあぼけっと西国分寺駅前教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	国の基準を満たしており開所前に東京都の検査も受けています。	個室を増やすよう改善しても良いと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		お子様用トイレの改善(開き戸ではなく、引き戸にする。スペースを広くする等)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎回、おもちゃの消毒と毎日の清掃を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		利用するお子様の数の部屋が準備されている。 集団活動をする大部屋と個室があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	全職員が働きやすい風通しの良い環境作りを心掛けていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	現時点では第三者評価については実施しておらず、今後については未定です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		すべての職員が入職時に本部の初任者研修を受けています。入職後も職員会議や本部の研修を受けて資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		きちんと支援プログラムを作成し、公表をしております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		利用開始する前に保護者様と必ず面談をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	プログラム内容についての相談は活発に行われています。	定期的にかンファレンスは行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	ABAセラピーの療育の為、同じ内容が続くこともありますが、スキルを確実に獲得してからステップに進みます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日終礼を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		センターとの連携も行っており、情報共有もしております。またたびあ本部のスーパーバイザーに相談する機会も設けています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3				
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		研修という形ではありませんが、毎回面談形式でフィードバックを行っております。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		毎回支援終了後にフィードバックの時間を設け、支援中のお子様の様子、ご家庭での様子を共有しています。各療育のフィードバック時にご相談ごとを伺っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	プライバシー保護の観点と毎回の支援を充実した時間にする為、開催しておりません。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		リタリコのプロゲやインスタで載せています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きのキャビネットで保管をしています。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	国分寺市の連絡会に毎回参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に職員全員で研修をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと西国分寺駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月21日		～ 2026年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年12月21日		～ 2026年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回保護者様へ長めのフィードバックの時間が確保されていること。	全セラピストで情報を共有するように朝礼、終礼など必ず行っております。	定期的にスタッフ面談を行い、意見が言えるような雰囲気づくりを心掛けております。
2	作業療法士、理学療法士が在籍しているため、運動面を専門的な視点からみれること。	毎回の療育の記録は数値化して経過がみれるので、習得したことがわかりやすいこと。	わからないことは、本部のスーパーバイズをお願いできること。
3	ABAを主軸にした療育をしていること。	様々な研修を受けることができること。	
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関やエレベーターが狭く、BC間の入れ替え時に混雑すること。		
2			
3			